

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	母子生活支援施設入所措置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 中嶋 万喜
体系	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 榮 峰男
	基本事業	59	相談支援体制の充実		所属班	子ども保育班	(内線) 2314
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	児童福祉法合志市母子生活支援施設及び助産施設の入所等に関する規則
	一般	3	2	1	10897		成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	母子家庭等における児童の福祉欠如やDV等により保護者及び児童を支援施設へ保護する事業で、平成18年の合併による福祉事務所設置に伴ない県から移管された事業である。以前は母子家庭の経済的な支援策として設置されていた施設だが、現在は主にDVから逃れ母子の安全を確保するための施設として捉えられている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	(1) 入所申込処理業務 ①母子保護の相談受付 ②母子生活支援施設入所申込書記入 ③入所申込書の受理 ④所要の調査、審査 ⑤入所決定伺い ⑥母子生活支援施設入所(承諾、不承諾、解除) 通知書の交付⑦保護台帳の作成 ⑧母子生活支援施設の長へ承諾通知書コピーを送付(解除の場合、解除通知コピー送付) ⑨入所負担金の徴収(2)届処理業務 ①氏名、住所変更届 ②退所届 ③死亡届 等の受付、処理 (3) 施設への負担金支払業務 ①負担金請求の受付(請求書等の審査) ②負担金の支出負担行為の作成、決裁 ③支出命令書作成、決裁 (4) その他 入所者の状況調査(面接)
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	入所者の安全が確保され、できるだけ短期間で退所できるような支援と働きかけが必要。入所者からは施設内での対応に不満の声も聞かれている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
入所継続で2世帯、新規で1世帯入所。相談事業の中で内容に応じて関係者が連携を図り対応した。	現在1世帯入所中であるが、H23.12月に退所予定であるが、今後も新たな相談内容によっては、施設入所措置が出てくると思われる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 新規保護実施世帯数	世帯
→ イ: 継続入所措置世帯数	世帯
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
DV等相談のあった母子	→ ア: DV等相談者 人
	→ イ: 入所措置世帯数 世帯
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
DV等による不安が軽減し、母子が自立できる。	→ ア: 継続入所世帯に対する新規入所世帯の割合 %
	→ イ: 母子生活支援施設を退所できた世帯の割合 %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
入所状況を把握し、自立の度合いを計ることができる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 世帯		1	2	1	1	1	1	1	1	
	イ 世帯		1	1	1	2	1	1	1	1	
② 対象指標	ア 人		16	13	15	15	15	17	19	21	
	イ 世帯		1	3	2	3	2	2	2	2	
③ 成果指標	ア %		100	200	20	50	100	100	100	100	
	イ %		50	33	50	100	50	50	50	50	
投資 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円	823	3,815	3,600	2,787	3,600	3,600	3,600	
		都道府県支出金	千円	411	1,907	1,800	1,394	1,800	1,800	1,800	
		地方債	千円								
		その他	千円	41	83	26	8	26	26	26	
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	389	3,270	1,806	497	1,806	1,806	1,806		
	(A) 事業費計	千円	1,664	9,075	7,232	4,686	7,232	7,232	7,232		
	(A)のうち指定経費	千円	0	9,044	7,200	4,686	7,200	7,200	7,200		
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	4	5	5	4	5	5	5		
	延べ業務時間	時間	170	540	300	440	300	300	300		
	(B) 人件費計	千円	676	2,224	1,236	1,776	1,236	1,236	1,236		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,340	11,299	8,468	6,462	8,468	8,468	8,468		

事務事業名	母子生活支援施設入所措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 相談者に対して、適切な対応ができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 児童福祉法によるものであり、適切である。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 児童福祉法等により実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 児童福祉施設として保護単価の規定があるため現在のところ削減の余地は無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 児童福祉施設として保護単価の規定があるため現在のところ削減の余地は無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 入所、退所の条件が漠然としている点があるため、適正化の余地がある。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 施設への入所措置のため、行政しかできない。	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

昨年度からの継続入所者1世帯は自立し退所。平成22年2月入所の1世帯は自立するための就職活動を行っているため、相談員を中心に相談を受け、適した情報提供等を行った。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						